

# 平成27年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康医療部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査(サーベイランス)を実施しています。検査の結果は、下記のとおりです。

平成28年3月31日現在

感 染 症 名	対象動物	検体	4から2月			3月			平成27年度 計		
			検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性
結 核	牛		726頭		726頭	6頭		6頭	732頭		732頭
腸 管 出 血 性 大 腸 菌	牛・めん山羊	糞便(農家)	210検体		210検体				210検体		210検体
	牛	枝肉(食肉処理場)	321検体		321検体	20検体		20検体	341検体		341検体
ウ エ ス ト ナ イ ル ウ イ ル ス 感 染 症	蚊		2223匹		2223匹				2223匹		2223匹
	野鳥	脳	6羽		6羽				6羽		6羽
高 病 原 性 鳥 イン フ ル エ ン ザ	鶏・アヒル	気管・クローカスワブ	350羽		350羽	40羽		40羽	390羽		390羽
		血清	815羽		815羽	60羽		60羽	875羽		875羽
	野鳥	気管・クローカスワブ	6羽		6羽	11羽		11羽	17羽		17羽
	野鳥(渡り鳥)	糞便	477検体		477検体	100検体		100検体	577検体		577検体
豚 イン フ ル エ ン ザ	豚	肺	1頭		1頭	2頭		2頭	3頭		3頭
デ ン グ 熱	蚊		2223匹		2223匹				2223匹		2223匹
チ ク ン グ ニ ア 熱	蚊		1273匹		1273匹				1273匹		1273匹
日 本 脳 炎	豚	血清	80頭	2頭	78頭				80頭	2頭※1	78頭
	蚊		2223匹		2223匹				2223匹		2223匹
ブ ル セ ラ 症	牛	血清	199頭		199頭				199頭		199頭
レ プ ト ス ピ ラ 症	豚	腎	1頭		1頭	2頭		2頭	3頭		3頭
	アライグマ	尿	106頭	9頭	97頭				106頭	9頭※2	97頭
Q 熱	アライグマ	血液	100頭		100頭				100頭		100頭
日 本 紅 斑 熱	アライグマ	血液	100頭	1頭	99頭				100頭	1頭※3	99頭
ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウ ム	牛	糞便	24頭		24頭				24頭		24頭
B S E	牛	延髄(食肉処理場)	165頭		165頭	8頭		8頭	173頭		173頭
		延髄(死亡牛)	50頭		50頭	3頭		3頭	53頭		53頭
ト キ ソ プ ラ ズ マ 症	豚	血清	50頭		50頭				50頭		50頭
	アライグマ	血清	100頭	7頭	93頭				100頭	7頭※4	93頭
豚 レ ン サ 球 菌 感 染 症	豚	臓器	1頭		1頭	2頭		2頭	3頭		3頭

※1 日本脳炎については平成23、24、26年度には確認されませんでした。平成25年度に抗体の保有が確認され、今年度も抗体の保有が確認されました。日本脳炎ウイルスへの感染対策としては、蚊の季節における防蚊対策が有効です。

※2 レプトスピラ症陽性については、一般的な感染症予防の観点からも野生動物と接する際には素手で触れず、また取り扱った後は手指を十分に洗浄、消毒して下さい。

※3 マダニ類に咬まれる事により感染する恐れがありますので、野山に入る時には肌を露出しない服装や、虫除けスプレーを使用する等、注意しましょう。

※4 アライグマの糞尿等を介して、感染することはありませんが、一般的な感染症予防の観点からも野生動物と接する際には素手で触れず、また取り扱った後は手指を十分に洗浄、消毒して下さい。